

## 第68回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

第1 開催日時 令和3年9月21日（火）午後6時30分～午後8時32分

第2 開催場所 オンライン会議（集合形式を併用）

第3 出席委員 出席 18人（欠席8人）

[オンライン参加]

小林義明（会長）、佐々木善信（副会長）、浅野秀美、石坂卓也、  
小松日出雄、宍戸良雄、三浦徹郎、山下美和子、山田知英美、  
荻原正樹（副会長）、岩本宏樹、河西保人、川鍋章人、外山慶範

[集合参加]

海老沢行子、神崎正夫、牧野隆男、三谷義文

（名前の表示は正副委員長を除き、選出区分別 50音順）

事務局 奥水勝、加藤弘道、岩崎誠、竹内弘子

第4 会議の公開 公開

第5 傍聴人の数 2人

第6 次第

1 開会

2 報告事項

(1) ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱の一部改正について

(2) 第67回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について

(3) 施設の運転結果について

ア ごみ処理実績（令和3年4月～7月）について

イ 環境測定結果（令和3年4月～7月）について

(4) 令和2年度温室効果ガスの排出状況について

3 協議事項

リサイクルセンター整備基本計画（素案）について

4 その他

(1) 委員の改選依頼等について

(2) 次回日程等について

5 閉会

配布資料

【資料1】 ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱（新旧対照表）

【資料2】 第67回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

【資料3-1】 ごみ処理実績（令和3年4月～7月）

【資料3-2】 環境測定結果（令和3年4月～7月）

【資料4】 令和2年度温室効果ガスの排出状況について

【資料5-1】 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の概要

【資料5-2】 B案：中央棟のみを建て替えて更新する案

【資料5-3】 C案：施設全てを建て替えて更新する案

【資料5-4】 整備手法の検討経過

【資料6】 令和3年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュールについて

別添資料1 リサイクルセンター整備基本計画（素案）

別添資料2 補足説明（パワーポイント資料）

## 1 開会

### 【事務局】

それでは、定刻となりましたので進めさせていただきます。

委員の皆様にはお忙しい中、地元協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。今回の第68回ふじみ衛生組合地元協議会は、書面のみによるご説明が難しい議題が含まれていることから、開催方法につきまして事前に地元協議会正副会長にご相談させていただき、委員の皆様にも既にご案内のとおり、地元協議会では初めての試みとなりますが、オンラインと集合形式を併用した会議として開催させていただくこととなりました。委員の皆様には多大なご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

会議に入ります前に事務局から3点お伝えします。

1点目です。本日の会議ですが、可能であれば1時間30分程度とさせていただきたいと考えていますので、スムーズな会議の進行にご協力をよろしくお願いいたします。

2点目です。オンラインでご参加の委員の皆様にお伝えします。本日の会議の資料ですが、事務局から事前に送付しました紙資料をお手元にご用意いただきますようお願いいたします。なお、委員の皆様方がご覧になっています画面にも資料の映像をお示しするようにいたします。

3点目です。こちらもオンラインでご参加の委員の皆様にお伝えします。万が一インターネットが切断した場合は、事前に事務局からメールでお送りしましたミーティングIDとパスワードを再度ご入力いただき、通信をつなぎ直していただきますようお願いいたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

まず、1点目の資料でございます。表紙が「第68回ふじみ衛生組合地元協議会次第」にホチキスでつづられている資料1から資料6までの冊子となります。

次に、2点目の資料です。別添資料1として、「リサイクルセンター整備基本計画（素案）」と書かれているホチキス留めの冊子でございます。

次に、3点目の資料です。別添資料2として、「補足説明（パワーポイント資料）」のホチキス留めの冊子でございます。

よろしいでしょうか。以上3点の資料に基づき進行させていただきます。

資料のご準備がよろしければ会議に入らせていただきます。

ここからは、会長に進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしくお願いいたします。

**【会長】**

改めまして委員の皆様、こんばんは。

先ほど事務局から説明がございましたが、このたびの地元協議会は、開催方法をオンライン形式と会場への集合形式を併用した会議とさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

会議を実施するに当たり、私から委員の皆様と事務局にお伝えします。

まずは、オンラインでご参加の委員の皆様へのお願いです。発言するとき以外、マイクがご自身の声を拾わないようにミュートにさせていただきますようお願いいたします。なお、発言を希望される場合は、必ず画面の前で手を挙げて、私が指名してからミュート解除にしてご発言いただきますようお願いいたします。

次に、会場にお集まりいただいた委員の皆様へのお願いです。発言を希望される委員の方は、必ず手を挙げて私が指名してからご発言いただきますようお願いいたします。なお、ご発言の際は、事務局が席までマイクをお持ちしますので、マイクを使用してくださいようお願いいたします。

次に、事務局へお伝えします。本日は限られた時間の中で会議を進めたいことから、説明は手短に、かつ、簡潔にお願いします。

本日の委員の出席状況です。オンライン会議出席者は14人、会場へお集まりいただいた出席者は4人で、合計18人となっております。委員の半数以上が出席されていますので、会議は有効に成立していることを報告します。

それでは、本日の会議を進めるに当たり、委員の皆様にお諮りします。本日の案件は報告事項が4件、協議事項が1件となっております。各案件についてふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領に基づき、本日の会議を公開とし傍聴を承認したいと思いますが、委員の皆様、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

【会 長】

異議なし多数にて、ご承認をいただきましたので、本日の会議を公開とし、傍聴を承認します。

本日の傍聴希望者につきまして、事務局から報告をお願いします。

【事 務 局】

傍聴希望者は2人いらっしゃいます。

【会 長】

分かりました。

オンラインにおいて傍聴人の方が待機していますので、ふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領に基づき、傍聴人の方に本会議に入室をしていただきます。

(傍聴人入室)

【会 長】

傍聴人の方にお伝えいたします。

ふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領、第8条の規定に基づき、カメラ及びマイクはオフにさせていただきます。

## 2 報告事項

### (1) ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱の一部改正について

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

2、報告事項(1)ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱の一部改正について、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

お手元の資料4ページをお開きください。「ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱(一部改正)新旧対照表」でございます。

今回、改正する主な目的としては2つございます。1つ目は、7ページ目ですが、令和3年9月現在、町会・自治会等として、既になくなっている都営吉野東アパート自治会及びふじみ北原地区環境保全会を別表第1から削除するものでございます。

右側の上から4つ目の黄色マーカーの都営吉野東アパート自治会が、現在、

このアパートが取り壊されて自治会が存在しておりませんので削っております。それから、右側下、黄色マーカーのふじみ北原地区環境保全会も、現在存在しておりませんので削っております。そのほか、黄色マーカーで示している自治会名は、正式な自治会名に修正している自治会でございます。

2つ目が5ページでございます。地元協議会の開催に先立ちまして、毎回、協議調整を行うため正副会長会を開催させていただいておりますが、要綱中に規定されていなかったため、今回、改めて規定することとした次第です。具体的には、左下の黄色マーカーの第8条の部分ですが、第1項で、「前条の会議の運営に関し協議又は調整を行うため、正副会長会を置く」と規定し、次の6ページ目の第2項で、「正副会長会は、会長及び副会長をもって組織する」、第3項で、「正副会長会の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長は会長が務める」と規定いたしました。

そのほかの修正箇所は、執務上必要な文言の追加や修正等、規定を整備した次第でございます。

私からの説明は以上でございます。

**【会 長】**

ありがとうございます。説明は終わりました。

何かご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。

特になければ、先に進みたいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

## (2) 第67回ふじみ衛生組合地元協議会会議録(要旨)について

**【会 長】**

報告事項の(2)、第67回ふじみ衛生組合地元協議会会議録(要旨)について、事務局から説明をお願いします。

**【事 務 局】**

事務局でございます。前回、7月19日月曜日に開催いたしました第67回ふじみ衛生組合地元協議会の会議録についてお諮りさせていただきます。会議録はお手元の資料2、10ページから30ページまでとなります。会議録の内容についてご意見などございましたら、この場でご指摘いただきますようよろしくお願

いたします。

事務局からは以上でございます。

【会 長】

皆様、会議録について何かございますでしょうか。

ございませんか。

(「はい」の声あり)

【会 長】

特になければ、第67回ふじみ衛生組合地元協議会会議録を承認することとします。事務局で公開の手続を進めてください。

### (3) 施設の運転結果について

#### ア ごみ処理実績(令和3年4月～7月)について

次に、報告事項の(3)施設の運転結果についてのア、ごみ処理実績(令和3年4月～7月)について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和3年度の4月から7月までのごみ処理実績についてご報告いたします。

資料の32ページをご覧ください。クリーンプラザふじみの処理実績速報値でございます。上のグラフは可燃ごみの搬入実績でございます。搬入量の合計は2万6,417トンで、前年同期に比べ372トン、1.4%の増となりました。その内訳としては、三鷹市が1万453トンで、前年同期比113トン、1.1%の減。調布市が1万2,542トンで、前年同期比58トン、0.5%の増。リサイクルセンターから出る可燃性残渣が2,525トン、前年同期比173トン、6.4%の減。その他といたしまして、広域支援により本年度から受入れを開始した小平市の可燃ごみが898トンです。その他の前年度298トンは、宮城県大崎市の災害廃棄物で、本年度の受入れはありません。市民1人1日当たりに換算しますと、三鷹市分は449グラム、調布市分は432グラムとなっています。

下のグラフは、焼却処理後の灰の搬出量です。焼却灰、飛灰、鉄分の合計は2,691トンで、前年同期に比べて238トン、9.7%の増となりました。

次に33ページをお願いします。横向きのグラフ表は、可燃ごみの焼却量及び焼却に伴う発電量と送電量を月別にお示ししたものです。青い縦棒が本年度の

焼却量、赤い縦棒は前年度の焼却量になります。折れ線グラフの青い実線は本年度の発電量、青い破線は前年度の発電量です。また、緑色の実線は本年度の送電量、緑色の破線は前年度の送電量です。

4月から7月までの焼却量は合計2万1,984トンで、前年同期に比べ1,955トン、9.8%の増でした。発電量の合計は1万2,103MWhで、前年同期比1,274MWh、11.8%の増となりました。1日平均の発電量は99MWhで、およそ8,379世帯分の電気消費量に相当します。送電量の合計は8,909MWhで、前年同期比1,199MWh、15.5%の増となりました。その内訳としては、リサイクルセンターへの送電量が299MWh、三鷹市防災公園への送電量が877MWh、電力事業者への送電量が7,734MWhでした。

次に、34ページのリサイクルセンターの処理実績速報値でございます。上のグラフ、搬入実績をご覧ください。搬入量の合計は6,329トンで、前年同期に比べて433トン、6.4%の減となりました。その内訳としては、三鷹市が3,181トンで、前年同期比172トン、5.1%の減。調布市が3,148トン、前年同期比261トン、7.7%の減となっております。市民1人1日当たりに換算しますと、三鷹市分は137グラムで、前年同期に比べて8グラムの減、調布市分は108グラムで、前年同期に比べて9グラムの減となっております。

続いて搬出量です。搬出量の合計は6,067トンで、前年同期に比べ465トン、7.1%の減となりました。その内訳としては、アルミ、鉄など有償で売却できる金属類の合計が812トンで、前年同期比49トン、5.6%の減。無償で引渡している容器包装リサイクル法の対象品目やリチウムイオンバッテリーなどの二次電池の合計が2,524トンで、前年同期比212トン、7.8%の減。廃乾電池や小型家電など適正処理にかかる費用を負担している、いわゆる逆有償の品目の合計が206トンで、前年同期比32トン、13.3%の減となっております。

このほか、クリーンプラザふじみに搬出している可燃性残渣が2,525トン、前年同期比173トン、6.4%の減となりました。全体的に搬入量の減少に伴って搬出量が減少しております。

令和3年度4月から7月までのごみ処理実績の報告は以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。ご意見、ご質問、いかがでしょうか。



## イ 環境測定結果（令和3年4月～7月）について

続きまして、イの環境測定結果（令和3年4月～7月）、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

それでは、資料の38ページをお開きください。令和3年度環境測定結果でございます。前回の地元協議会では5月分までご報告しておりますので、本日は6月分と7月分についてご報告いたします。

まず、上段の部分です。1号炉は、6月5日に立下げを行い、年次点検のため休炉し、7月10日に立上げを行っております。2号炉は、5月6日に立下げを行い年次点検のため休炉し、6月19日に立上げを行っております。タービンは、6月5日から年次点検のため停止し、6月20日から売電を再開しております。そして、6月7日から18日まで共通設備の年次点検を行っております。

続きまして、その下の段、排ガス測定、7月分の測定結果についてご報告いたします。結論から申しますと、全て基準値内でした。ばいじんは0.001未満、硫黄酸化物は2号炉の0.8が最高値ですが、基準値未満。塩化水素は1号炉、2号炉とも0.5が最高値ですが、基準値未満。窒素酸化物は1号炉の28が最高値ですが、基準値未満。鉛、カドミウム、亜鉛につきましては、いずれも0.004未満で基準値未満。水銀もいずれも0.0001未満で基準値未満。一酸化炭素は2号炉の5が最高値ですが、基準値未満。ダイオキシンは2号炉で0.00013が最高値ですが、基準値未満でした。

続きまして、騒音・振動・臭気・排水の測定でございます。こちらも6月以降の測定値ですが、騒音と振動につきましては測定の予定が無かったため、ご報告する数値はございません。臭気指数につきましては、6月が10未満で基準値以下。排水についても水質基準以下という結果でございます。

続きまして、その下の段、周辺大気の測定でございます。こちらは7月の測定値がございまして、40ページをお開きください。上段がクリーンプラザふじみ稼働前の平成24年当時のデータと、稼働の直近のデータである令和3年7月のデータを比較したものでございます。

浮遊粒子状物質、二酸化硫黄など、どの項目においても微細な変化のみで、

稼働前と稼働後に大きな変化はございません。下の段は、前年度と今年度のデータの比較でございます。こちらにつきましても、微細な変化のみではほぼ同様の数値となっております。

続きまして、38ページにお戻りください。一番下の段になりまして、放射能に関する測定でございます。焼却灰は6月、7月ともに不検出です。飛灰は6月の39が最高値ですが、基準値以下。1号炉は休止中、2号炉、排水ともに不検出という結果でございます。最後に、空間放射線量率の測定です。地上1メートルと地上5センチで測定しており、7月の敷地境界線（南）の0.08が最高値ですが、基準値以下でございます。

私からは以上でございます。

【会長】

説明は終わりました。何かご質問はございますでしょうか。

#### （4）令和2年度温室効果ガスの排出状況について

次に、報告事項の（4）令和2年度温室効果ガスの排出状況について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和2年度温室効果ガスの排出状況がまとまりましたのでご報告いたします。

初めに、当組合では平成28年2月にふじみ衛生組合地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガスの削減に向けて取り組んでまいりました。この実行計画では、平成26年度を基準年度とし、計画期間を平成28年度から令和2年度までの5年間としており、今回ご報告する令和2年度分が計画期間の最終年度、目標年度となっております。

資料4、42ページをご覧ください。この一覧表は令和2年度の温室効果ガスの排出量をまとめたものでございます。一覧表左側のエネルギー起源二酸化炭素は、化石燃料の燃焼や電力を購入することで発生する二酸化炭素で、一覧表右側の年間排出量は約499トンでした。続いて、その下の非エネルギー起源二酸化炭素です。これは、一般廃棄物中に含まれる廃プラスチックを燃焼することで発生する二酸化炭素で、年間排出量は約3万611トンでした。続いてその下のメタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンでございます。これは、主

に一般廃棄物の燃焼に伴い発生するもので、年間排出量は約1,233トンでした。これらを合計した量が、令和2年度にふじみ衛生組合で排出した温室効果ガスの総量であり、一覧表の約3万2,343トンとなります。これは、一般廃棄物の焼却処理のために、三鷹市民及び調布市民が年間1人当たり76キログラムの温室効果ガスを排出したことになります。

次に、資料43ページをご覧ください。上段の令和2年度エネルギー起源CO<sub>2</sub>、二酸化炭素排出量です。令和2年度の排出量は合計約499トンでしたが、実行計画での目標値1,013トン以下から半分以下の排出量に抑え、目標を達成しています。目標達成の主な要因ですが、平成30年度に水銀制御装置を導入し、焼却炉の緊急停止が皆無となり灯油使用量が大きく減少したこと、また、計画的な焼却炉の運転により購入する電力が減少したことが挙げられます。

次に、下段の令和2年度温室効果ガス総排出量です。令和2年度の温室効果ガスの総排出量3万2,343トンは、実行計画での目標値3万1,587トン以下から756トン、2.4%上回り、目標を達成することができませんでした。その主な要因としましては、令和2年度の三鷹市及び調布市の人口が、基準年度（平成26年度）と比較しまして、約2万2,000人、5.3%増加したことが挙げられます。

なお、温室効果ガス総排出量の94.7%を占めるのが、廃プラスチックの焼却に伴い発生する非エネルギー起源二酸化炭素排出量であり、その他一酸化二窒素、メタンを含めると、当組合で排出された温室効果ガス総排出量の98%以上が一般廃棄物の焼却によって排出した温室効果ガスとなっています。

なお、資料44ページには、各活動区分における基準年度と令和2年度の温室効果ガス排出量の比較を示しています。

最後に、既に第66回地元協議会でご報告させていただきましたが、当組合では、令和3年度以降の温室効果ガス排出量の削減を図る目的から、令和3年3月に第2次ふじみ衛生組合地球温暖化対策実行計画を策定しました。この計画では、令和3年度以降の温室効果ガス削減に向けて最も効果的な取組として、さらなる一般廃棄物搬入量の減量、プラスチック類の分別促進を図ることが重要であり、環境学習の充実による啓発活動や、組織市と連携し市民・事業者へ啓発・情報提供を行うこととしております。

説明は以上でございます。

【会 長】

説明は終わりました。何かご質問がある方は挙手にてお願いいたします。

### 3 協議事項

#### リサイクルセンター整備基本計画（素案）について

なければ、次第の3、協議事項に移ります。リサイクルセンター整備基本計画（素案）について、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

リサイクルセンター整備基本計画（素案）について説明をさせていただきます。資料は、別添資料1、「リサイクルセンター整備基本計画（素案）」、それから別添資料2、「補足説明（パワーポイント）資料」、並びに資料の46ページから51ページまでの資料5-1から5-4までを使用いたします。

それでは、別添資料1、「リサイクルセンター整備基本計画（素案）」の3ページ及びパワーポイントの5コマ目をご覧ください。

新施設整備基本方針でございます。①循環型社会形成に資する安定した処理が可能な施設から⑧環境教育の拠点となる施設まで、8つの基本方針を定めました。

続きまして、パワーポイントの6コマ目をご覧ください。基本方針のうち、②地球環境に優しい施設につきましては、世界的な温室効果ガス削減の流れに呼応し、日本においても2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることが宣言された中、新施設につきましても、CO<sub>2</sub>の排出をできる限り抑制する施設とするものです。また、④災害に対して強靱な施設、⑥地域との調和を図る施設、⑧環境教育の拠点となる施設につきましては、新施設は単にごみを処理するだけでなく、新たな付加価値を創造する21世紀にふさわしい施設とするものでございます。先進事例を参考に、三鷹市、調布市にふさわしい施設となるよう努めてまいります。

続きまして、基本計画（素案）の5ページ及びパワーポイントの7コマ目をご覧ください。事業主体をふじみ衛生組合とし、現在の場所において現在と同様の品目を処理する施設といたします。

続きまして、基本計画（素案）の6ページ及びパワーポイントの8コマ目を

ご覧ください。施設規模につきましては、不燃ごみとプラスチックに幅を持たせております。その理由でございますが、パワーポイントの9コマ目をご覧ください。新聞報道にもございますとおり、現在、国においては海洋プラスチックごみ問題などへの対応として、プラスチックの資源循環を一層促進するため、製品プラスチックを含めたプラスチックの再資源化を推進しているところです。

続きまして、パワーポイントの10コマ目をご覧ください。なお、拡大したものを資料46ページ、資料5-1としてご用意させていただきましたので、併せてご覧ください。そこで、製品プラスチックを含めたプラスチックの再資源化を目的として、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が令和3年6月4日に可決成立し、11日に公布されました。この資料の左下、赤枠で囲んだ言葉をご覧くださいますと、ハンガーとレゴブロックの絵が掲載されています。このように新しい法律では、全てのプラスチックのリサイクルを市区町村の努力義務としています。また、その絵の下に「主務大臣が認定した場合に、市区町村による選別、梱包等を省略して再商品化事業者が実施することが可能に」と書いてありますが、これは、市区町村が収集したプラスチックをリサイクル工場に直接持ち込むことができますという意味でございます。直接持ち込めば、当然、市区町村による選別、梱包等の必要がなくなる。つまり、ふじみ衛生組合での処理が必要なくなるという意味でございます。

続きまして、パワーポイントの11コマ目をご覧ください。ふじみ衛生組合では、現在、11コマ目の絵のような容器包装プラスチックのリサイクルを行っております。

続きまして、パワーポイントの12コマ目をご覧ください。新しい法律では、12コマ目の絵のような製品プラスチックを含む全てのプラスチックのリサイクルを市区町村の努力義務としています。ふじみ衛生組合では現在、製品プラスチックのリサイクルを行っておりませんので、リサイクルセンターの更新に当たり、製品プラスチックの取扱いを不燃ごみとするのか、プラスチックとするのか大きな課題となります。

そこで、戻りますが、パワーポイントの8コマ目のとおり、製品プラスチックをリサイクルした場合は不燃ごみが23トン、プラスチックが41トン、製品プラスチックをリサイクルしない場合には不燃ごみが27トン、プラスチックが37

トンと、処理能力に幅を持たせております。合計すれば、どちらも64トンになりますので、全体の処理能力に変わりはありません。

続きまして、パワーポイントの13コマ目をご覧ください。容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収の目的です。まず、左側の分別排出のところでは、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括回収することによって、市民の皆様にとって分別しやすくなることが想定されます。プラスチックでできているかどうかで判断すればいいからです。これにより、分別協力率の向上が期待され、資源回収量の増加が見込まれます。

次に、中間処理のところでは、ふじみ衛生組合で簡易選別をすれば現状と変わりませんが、三鷹市、調布市がリサイクル工場へ直接持ち込めばふじみ衛生組合での処理が必要なくなり、中間処理費用の削減が見込まれます。この場合、新施設のプラスチックの処理能力はゼロとなりますが、現時点では可能性は低いと考えています。

その理由を説明します。パワーポイントの14コマ目をご覧ください。容器包装プラスチックと製品プラスチック一括回収の課題の1点目です。リサイクル工場がどこにできるのか、その所在地が現時点では公表されておられません。少なくとも三鷹市内、調布市内にリサイクル工場ができるという話は聞いたことがありません。民間企業ですから、地価の高い三鷹市や調布市の周辺にリサイクル工場を造る可能性は低いと考えています。

仮に、関東圏にリサイクル工場ができたとしても、収集車両は収集場所からリサイクル工場まで1日1往復しかできないと考えています。現在、収集車両は、収集場所からふじみ衛生組合まで1日2往復又は3往復していますので、仮に関東圏にリサイクル工場ができたとしても、収集車両を2.5倍程度増やさなければ対応できません。2.5倍に増車するのは、三鷹市、調布市とも非常に厳しいと考えています。したがって、現時点では、リサイクル工場へ直接持ち込むことは想定していません。

続きまして、パワーポイントの15コマ目をご覧ください。容器包装プラスチックと製品プラスチック一括回収の課題の2点目です。容器包装プラスチックについては、リサイクル費用を容器包装プラスチックを製造した製造事業者等が負担していますので、リサイクル費用は無料です。しかしながら、製品プラ

スチックについては、リサイクル費用についても自治体の負担とすることになっています。仮にリサイクル費用が1トン当たり5万円として2,000トン処理すると1億円の負担となります。CO<sub>2</sub>削減のために1億円を負担するかどうかは、市民の皆様の意見が分かれるところかもしれません。また、容器包装プラスチックは無料で製品プラスチックが有料だとすると、リサイクル費用を算出するためにどのように計量するのでしょうか。まさか、一括回収した容器包装プラスチックと製品プラスチックを分けて計量してくださいということは言わないと思いますが、その点も現在明らかになっておりません。このように現時点では、容器包装プラスチックと製品プラスチック一括回収については、詳細な制度設計が国から公表されておりません。

続きまして、パワーポイントの16コマ目をご覧ください。容器包装リサイクル法についての参考資料です。容器包装リサイクル法では、図の①のとおり、リサイクル費用を容器包装プラスチックを製造した製造事業者等が年間390億円支出しています。この集めたお金を指定法人である日本容器包装リサイクル協会がリサイクル工場に払っており、自治体の費用負担は発生していません。

続きまして、パワーポイントの17コマ目をご覧ください。現時点では製品プラスチックのリサイクルについて詳細な制度設計が国から公表されておりませんので、施設規模を定めるのは困難な状況でございます。したがって、施設規模につきましては、今後、製品プラスチックリサイクルの諸条件が明らかになった段階で再度検討を行いたいと考えています。なお、検討方法については、分別や収集を担う三鷹市、調布市での検討及び選別・保管などの中間処理を行うふじみ衛生組合での検討が考えられますので、その際には、ぜひ皆様からご意見をいただければと考えます。

続きまして、基本計画（素案）の7ページ及びパワーポイントの18コマ目をご覧ください。整備手法でございます。他の施設に頼らないで済む自区域内処理の原則に沿ったごみ処理ができ、経済性にも優れた中央棟のみ建替更新いたします。

整備手法につきましては、これまでの検討経過も含めご説明いたします。パワーポイントの19コマ目をご覧ください。なお、拡大したものを資料47ページ、資料5-2としてご用意させていただきましたので、併せてご覧ください。こ

これは令和元年10月28日に開催した第62回地元協議会の資料でございます。

資料5-2は、中央棟のみ建て替えて更新するB案でございます。工事期間中のプラスチックの処理方法別に概算費用を算出したものでございます。左側のB案1は、プラスチックをふじみ衛生組合で保管積替えて外部で処理する方法で、建設費と工事期間中3年間のごみ処理経費の合計は約111億円です。中央のB案2は、プラスチックを外部へ直送し処理する方法で、建設費と工事期間中3年間のごみ処理経費の合計は約125億円です。右側のB案3は、プラスチックをクリーンプラザふじみて焼却処理し熱回収する方法で、建設費と工事期間中3年間のごみ処理経費の合計は約87億円です。

続きまして、パワーポイントの20コマ目をご覧ください。なお、拡大したものを、資料49ページ、資料5-3としてご用意させていただきましたので、併せてご覧ください。これも令和元年10月28日に開催した第62回地元協議会の資料でございます。

資料5-3は、東棟、北棟、中央棟、全ての施設を建て替えて更新するC案であり、工事期間中のプラスチックとペットボトルの処理方法別に概算費用を算出したものでございます。左側のC案1は、プラスチックをふじみ衛生組合で保管積替して外部で処理するとともに、ペットボトルを外部へ直送し処理する方法で、建設費と工事期間中3年間のごみ処理経費の合計は約123億円です。中央のC案2は、プラスチックをクリーンプラザふじみて焼却処理し熱回収するとともに、ペットボトルを外部へ直送し処理する方向で、建設費と工事期間中3年間のごみ処理経費の合計は約96億円です。右側のC案3は、プラスチックとペットボトルをクリーンプラザふじみて焼却処理し熱回収する方法で、建設費と工事期間中3年間のごみ処理経費の合計は約90億円です。

以上、B案を3つ、C案を3つの合計6つの案について、比較検討を行いました。その結果、プラスチックを処理する施設が近隣にないこと、経済性に優れていることなどを総合的に評価し、B3案とC3案に絞り込みをいたしました。

続きまして、パワーポイントの21コマ目をご覧ください。なお、拡大したものを資料51ページ、資料5-4としてご用意させていただきましたので、併せてご覧ください。B案3とC案3に絞り込みをいたしましたが、B案3、C案



3とも不燃ごみを外部で処理する必要があり、工事期間中の安定的な処理に懸念がございます。そこで、工事期間中の不燃ごみをふじみ衛生組合の中で安定的に処理する新たな案を今回採用することといたしました。それが右側の案3（新しい案）でございます。左側の案1、B案3に似ていますが、工事期間中はプラスチックに加えてペットボトルも熱回収し、空いたスペースで不燃ごみを処理する方法でございます。案2、C案3よりも建築面積が20%程度小さくなりますが、地下1階、地上5階建てにするなどの多層化により、必要な床面積を確保したいと考えております。

それでは、基本計画（素案）の7ページにお戻りください。パワーポイントは22コマ目をご覧ください。工事期間中は、プラスチックとペットボトルを熱回収し、東棟で不燃ごみの処理を行い、北棟でびん・缶、有害ごみの処理を行います。これにより外部での処理が必要なくなり、工事期間中のふじみ衛生組合で安定的な処理が可能となります。また、工事期間中の作業員の雇用の確保が図られるとともに、一番廉価であるB案3よりもさらに8億円程度のコスト削減が図られるなど、メリットが期待できます。その一方で、工事期間中プラスチックとペットボトルを熱回収するため、その分CO<sub>2</sub>の発生量が増加いたします。

それでは、基本計画（素案）の12ページ及びパワーポイントの23コマ目をご覧ください。工事期間中は、プラスチックとペットボトルを熱回収することによって、年間約1万7,000トン、CO<sub>2</sub>の発生量が増加すると想定しています。なお、現在はリサイクルできるプラスチックを選別し回収していますが、新施設稼働後はラインの数を増やし、ベルトコンベアのスピードを下げることによって、リサイクルできないものを取り除く方法に変更することから、プラスチックのリサイクル率の向上が見込まれ、工事期間中のCO<sub>2</sub>増加分は7年間で回収できると想定しています。

また、工事期間中は、特にスーパー等の事業者に廃プラスチックの自主回収を働きかけたり、市民の皆様も、できる限り廃プラスチックの排出抑制に取り組んでいただいて、CO<sub>2</sub>の発生量削減にご協力いただくことが大切であると考えています。

それでは、基本計画（素案）の9ページにお戻りください。パワーポイント

は24コマ目になります。環境保全計画でございます。市民の皆様の健康が最も重要であることから、万全の環境保全対策を講じます。

具体的には、国等の基準を遵守し、周辺環境に配慮した施設とするとともに、施設で働く作業員の良好な作業環境を確保いたします。また、省エネルギーを推進し、環境負荷を極力低減する施設といたします。

続きまして、基本計画（素案）の10ページ及びパワーポイントの25コマ目をご覧ください。付帯機能計画でございます。環境学習機能、地域コミュニケーション機能、防災機能が充実した施設といたします。

具体的には、1点目、環境学習機能といたしまして、見学者ルートを設けるとともに、リサイクル体験機能、環境学習会議室等の設置を検討いたします。

2点目、地域コミュニケーション・市民への還元機能といたしまして、粗大ごみとして排出された家具などを修理・加工して展示・販売するリサイクル工房機能を検討いたします。また、市民サービスの向上を図るため、粗大ごみや不燃ごみなどの持込みができるよう検討いたします。

3点目、防災機能といたしまして、備蓄倉庫機能を持たせるなど、一時避難場所としての役割を果たせるよう整備することを検討いたします。また、災害時にも安定的なごみ収集が図られるよう、一時貯留機能の充実を検討いたします。

冒頭に申し上げましたとおり、付帯機能計画につきましては、皆様と密接に関係する内容であると考えておりますので、後ほど積極的にご意見をいただければと存じます。

続きまして、基本計画（素案）の11ページ及びパワーポイントの26コマ目をご覧ください。事業方式及び事業費でございます。事業方式につきましては、民間の創意工夫を活用するDBO方式やPFI方式も含め、今後検討してまいります。ちなみに、クリーンプラザふじみ、こちらの施設は公設民営のDBO方式を採用しています。

次に、事業費につきましては、建設費として約70億円を見込んでおりますが、付帯機能の内容により、増減する可能性がございます。また、運営経費につきましては、今後、事業方式を定める中で算出いたします。

続きまして、パワーポイントの27コマ目をご覧ください。工事期間中の経費

ですが、先ほどの整備手法の検討経過のとおり、コストの削減に努めた結果、東棟・北棟の改良工事として約4億円、ごみ処理経費として3年間で約9億円、合計約13億円を見込んでおります。現在のリサイクルセンターの運営経費は年5億円程度でございますので、工事期間中に必要となる経費は、現在のリサイクルセンター運営費と同程度になると想定しています。

続きまして、基本計画（素案）の12ページの下段をご覧ください。市民参加でございます。新施設の整備に当たっては、積極的な情報発信に努めるとともに、説明会やパブリックコメントを通じ、市民の皆様の意見を施設づくりに反映してまいります。

最後に、基本計画（素案）の13ページ及びパワーポイントの28コマ目をご覧ください。事業スケジュールでございます。令和3年度中に基本計画を策定し、令和4年度から、発注仕様書の計画となる施設整備実施計画の策定に着手いたします。

また、この作業と並行して各種調査を実施するとともに、令和4年度後半から事業者選定の手続きに着手いたします。事業者選定を令和6年度前半に行い、令和6年度から建設工事に着手し、令和9年度の竣工を目標といたします。

これらと並行して、北棟・東棟の改造工事、及び既存の中央棟の解体工事を実施いたします。

なお、これらのスケジュールは、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に関する詳細な制度設計が、令和3年度中に国から公表されることを前提としておりますので、今後変更になる可能性もございます。

リサイクルセンター整備基本計画（素案）についての説明は以上でございますが、検討に関する今後のスケジュールを申し上げます。リサイクルセンター整備基本計画（素案）につきましては、本日ご検討いただいた後、次回11月に開催される地元協議会において、本日同様の説明をさせていただくとともに、ご検討をいただきたいと考えております。

現在の委員の皆様は任期は11月3日までとなっておりますので、継続されない委員の皆様には、ぜひ本日ご意見を承りたいと思います。また、引き続き委員を継続される皆様につきましては、11月の地元協議会においても引き続きご意見を承りたいと思います。

皆様からいただいたご意見を踏まえまして、基本計画（案）を作成いたします。この基本計画（案）につきましては、地元協議会で報告しご意見を承るとともに、広く市民の皆様からご意見をいただくため、12月以降、説明会とパブリックコメントを実施いたします。その後、皆様のご意見を踏まえまして最終案を作成し、地元協議会の皆様にもご確認いただいた後、来年3月には基本計画として策定の予定でございます。

なお、本基本計画は、施設整備計画の骨格を示すものであり、詳細につきましては、来年度以降、施設整備実施計画を策定してまいりますので、皆様からのご意見につきましては来年度以降も反映させることが可能でございます。

ふじみ衛生組合では、今後とも、地元協議会の皆様をはじめ、市民の皆様のご意見を伺いながら、慎重に検討を進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私の説明は以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。説明は終わりました。ご意見、ご質問ございますでしょうか。

今回と次回の地元協議会で意見、ご質問いただければと思いますが。

A委員、どうぞ。

【A委員】

「プラごみ一括回収」という政府の記事が載っています。第1の質問ですが、政府がこういった事業に対して補助費を出すか否か教えていただきたい。

次に第2の質問ですが、プラスチックは世界的な問題になっており、燃やすにも作るにも金がかかり、燃やすにしても、捨てるにしても、地球に害を与えるものであるので、プラスチックの代替品は考えられないのでしょうか。

【会長】

事務局、お願いします。

【事務局】

まず、A委員からいただいた1点目でございますけれども、一括回収するにはお金がかかる。それに対して、国から補助金等のお金は出ないのかとのことです。これにつきましては、現在、全くの白紙でございますが、確かに国にお

いても、自治体に全てを負担させるのは結構厳しいという認識はあるようです。今後補助金の可能性がゼロではありませんが、現時点では、残念ながら確実に補助金が出るといった情報はございません。

2点目です。プラスチックに代わる新たな素材の研究開発に取り組んでいる企業に対し、国も補助金等でバックアップしているところでございます。今後、開発された素材が広く使われるようになるのではないかとと思いますが、今しばらくは、できる限りプラスチックの使用を控えていただくことが一番大切なのではないかと思っていますところでございます。

以上です。

【会 長】

A委員、どうぞ。

【A 委 員】

現在、スーパーやデパートへ行っても、食料品はじめ、あらゆる部分でプラスチックが大変増えています。このまま手つかずでいくと、生産も使用も増えていきます。ごみが溜まるだけの問題になると思いますが、その辺はふじみ衛生組合が主導権を握って、ごみを減らすような政治的な動きというのも、ぜひ、やっていただきたいと思います。

以上です。

【会 長】

ありがとうございます。

ほかにご意見ございますでしょうか。どんなことでもお聞きいただければ、また、ご意見をいただければと思いますが。

B委員、どうぞ。

【B 委 員】

資料5-2の選定経過の件で、外部処理というのはどういう処理をするのでしょうか。B案3は焼却する、B案2の外部処理というのは、そこで同じように焼却するということですか。

【事 務 局】

プラスチックの処理ですが、基本的に、外部処理は、リサイクルをすることが前提でございます。

以上です。

【B 委員】

分かりました。ありがとうございます。

【会長】

ほかにごありますか。どうぞ。

【C 委員】

今日が初めての参加です。B案、C案と出ていますが、これは決まっていることなのですか。いろいろな資料を見せていただきましたが、私には細かい数字などはほとんど分かりません。いきなり案を示されても良く分からないため、一番いい案を「分かりました」と賛成するしかないのかと思っています。

継続的に会議に出席している方は、良く理解されていると思いますが、初参加なので、質問でも何でもなく愚痴みたいになってしまいますが、よく分かりませんでした。

ただ、新しい案、一番いいところをいろいろ研究されていると思いますし、反対する理由はありませんので、賛成するしかありません。数字も何億という莫大な数字ですから、私としては、これに対してどうこうしてくれとは言えません。分かりませんので、全て数字に対して賛成いたします。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

ほかにありますか。D委員、どうぞ。

【D 委員】

私も本当に素人ですから、数字的なこととか選定の経過は、はっきり言って分かりません。各委員の意見を入れて練りに練って、このようにして下さったと思うのです。私も案に対しては、賛成に手を挙げたいと思います。

リサイクルセンターの整備の24、9ページ、私はこれに尽きると思います。省エネルギーを推進し、環境負荷を極力低減して、かつ市民の方の健康が最も重要であると認識と記載されていますが、私は結果的にはここに到達すると思うのです。この選定基準などは本当に私もあまり言えませんので、私はこれを強調してお任せしたいと思います。

プラスチックの問題ですが、アメリカのバービー人形を、海洋プラスチックを再生利用し作っているという話も聞いています。そういうことが進めばいいと私は思います。

以上です。

【会 長】

ありがとうございます。

E委員、どうぞ。

【E 委 員】

プラスチックごみは焼却で熱回収されることが、12ページのリサイクルセンター整備に出っていますが、地域住民の心配は環境汚染の問題が一番大きいので、私は地域住民として、ぜひこれをもう少し明確にさせていただきたい。いろんな制度設計が決定していないこと等あると思いますが、11月にもう1回きちんとした説明を、ぜひ、お願いしたいと思います。

【会 長】

どうぞ、B委員。

【B 委 員】

一番懸念していることが、CO<sub>2</sub>の問題とお金の問題。焼却とリサイクルと、建築費その他維持費でお金が随分違う。高くても極力リサイクルを進めてほしいと思うのですが、これは私の地域住民のエゴの一つで、こちらの施設を運営するに当たってどちらを選ぶか。お金のことも考えなければいけないのですが、一住民の意見として、CO<sub>2</sub>、要するに地球環境又は住んでいる人の健康に良い方法を選択してほしいです。任期最後になりますが、私はこのような意見です。

以上です。

【会 長】

分かりました。ありがとうございます。

確かに、燃やさないでいいものは、燃やさずにリサイクルしたほうがいい。ただ建築中、それが一番安いやり方になる、その3年間という話ですけど。

私から質問ですが、例えばクリーンプラザふじみにも防災機能とか、地域住民が避難してきたときの機能があると思います。ですから、両方にその機能が

ある必要はないと思ひまして、そういう機能を少し外したりすれば、中央棟の規模が幾分小さくなるのではないのでしょうか。

車路の問題もあるのですが、組合敷地の西側で入るのではないかと。B案、C案でなく、他の案ということです。そうすればプラスチックを燃やすこともない。既存の施設を動かしながら、新施設を建設できる。幾分狭いという話もありますが、クリーンプラザふじみへの車路などは、例えば掘り下げるということをすれば、解決できることもあるのではないかという気がするのですが、いかがでしょうか。

#### 【事務局】

ただいま会長から、組合敷地の西側に建ててはどうかというご意見をいただきました。確かに、平成元年12月9日に開催された第64回の地元協議会においても、西側に造った方がコスト的に良いのではないかとのご意見をいただきましたので、組合でも検討は行いました。

西側のメリットでございますけれども、現在の処理を継続しながら建設が可能であり、外部での処理が必要ない、工事期間中の処理経費も低減を図ることができるといったことを認識しています。

また、現在のリサイクル率をキープできることで、工事期間中もCO<sub>2</sub>の発生量が現在と変わらないことを認識しています。

一方、デメリットといたしましては、建築面積が小さくなる、具体的には、新しい案では4,800平方メートルという建築面積を提示していますが、どうしても西側は敷地が狭いために、4,000平方メートルが限度だと考えており、その分、防災の関係、災害対応機能、それから環境学習機能、こういったものの制約が生じてまいります。見学者コースも造りたいし、一時避難場所も造りたいといういろいろな希望があっても、全てをかなえることができません。こういった機能の一部をばっさり切り捨てるということであれば話は別ですが、市民の皆様がそこはどうかというところがございます。

私ども、一番気にしているのは、一昨年の台風19号で、調布市において水害が発生し、その水害ごみを置いておく場所がないために、しばらく路上に置いていたことがございました。そういった体験も伺い、路上に置いておかなければいけないような水害ごみ、災害ごみについても、せつかく新しいリサイクル



センターを造るのでしたら、受入れられるようにしたいということも検討しております。少なくとも検討するに当たっては、できるだけ広い建築面積が必要ではないかと思っています。

こちらで一時保管するにしても、そのまま地面の上に置いておくわけにはいきませんので、飛散の防止、臭気の防止等を考えると、やはり建物の中に一時保管したいと考えており、そういった機能も含めると、なかなか西側では難しいと考えております。

それからもう1点は、西側に建設する場合、工事期間中は、可燃ごみの収集車両は西側からの入庫しか対応ができないと考えております。そうしますと今、調布市のクリーンセンター跡地に「BRANCH調布（ブランチ調布）」を造っていますが、そちらの利用者と収集車両が交錯するというのも、気になっているところです。

また、クリーンプラザふじみでは、年に2回、6月と12月にメンテナンスを行っていますが、そのメンテナンス期間中、約20台の駐車スペースを確保しなければなりません。西側に工事をいたしますと、工事期間中はどこか別の場所に駐車スペースを確保しなければならないといった問題もございます。

その他、工事期間中はふじみまつりを実施することができない、また、農業祭等で駐車場としてお貸しすることができない等のこともあり、私どもとしましては、今回西側ではなくて、今ある場所に建て替えるという提案をさせていただいたものです。

今回、委員の方に素案を提案させていただきましたが、委員の皆様がどうしても西側が良いということであれば、まだ見直す時間はあると考えているところでございます。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

ほかにはありますか。F委員、どうぞ。

【F委員】

新しい案の案3で私はいいと思います。外部に何らかの形で委託すると、ごみを移動しなければいけない。これは非常に無駄が多く、CO<sub>2</sub>も発生します

ので、できるだけ移動しないで、ふじみ衛生組合の内部で処理するべきと思います。

3年間焼却してしまうとCO<sub>2</sub>が増えるとのことですが、その後7年間で回収できるということなので、CO<sub>2</sub>の発生も問題ないと私は思います。その3年間に関しては焼却処理でいくしかないと思います。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

E委員、どうぞ。

【E委員】

やはり、プラスチックの量が増えるということで、何年間かで回収するということですが、その過程がこのグラフのとおりいくものなのかどうか、非常に疑問です。その辺はどうなっているのでしょうか。3年間は焼却処理の新しい案でいいと思いますが、それを担保するものがあればと思います。一括収集になって、今後プラスチックごみは増えていくのではないのでしょうか。

【会長】

事務局、どうぞ。

【事務局】

現在、ふじみ衛生組合では、容器包装リサイクル法に基づきまして、容器包装プラスチックのリサイクルを行っております。ただそれは、不燃ごみの処理ラインにプラスチックを時間を変えて流しています。不燃ごみ、プラスチックという専用のラインがありませんので、そういった処理をしまして、今、ふじみ衛生組合には年間約8,000トンのプラスチックが搬入されていますが、そのうちリサイクルできているのが約4,500トンです。約3,500トンは、残念ながら現在リサイクルできなくて、焼却場で熱回収を行っています。

ところが、全国の新しい施設の平均リサイクル率を見ますと、約80%です。ふじみ衛生組合が55%、56%ぐらいですから、全国の新しい施設では処理ラインを増やして、ベルトコンベアのスピードを遅くして、できるだけリサイクルしようと選別を行っています。全国平均の80%のリサイクル率を掛け合わせますと、グラフにもございますとおり、7年間でCO<sub>2</sub>は回収できることに

なります。

したがって、ふじみ衛生組合の新しい施設が全国平均の80%を下回ってしまえば、9年、10年と年数がかかりますし、逆に80%ではなくて、90%のようにリサイクル率がさらに上がれば、この7年後は5年ぐらいに短縮できます。このグラフの根拠は、現在、56%のリサイクル率を新しい施設にすることによって、リサイクル率を80%に高めるという基に計算された数字でございます。

以上でございます。

【会 長】

E委員、どうですか。

【E 委 員】

何となくは分かりましたが、リサイクル率を上げていくということですか。

【事 務 局】

そのとおりでございます。

【E 委 員】

それを具体的に示さないとだめなのではないかと思います。

【会 長】

G委員、どうぞ。

【G 委 員】

今回一番問題なのは、やはり排気ガスの関係だと思います。今回、データを見ますと、CO<sub>2</sub>の排気量が基準を超えているということです。この計画書では工事期間中、焼却処理をすることです。

基本的に、三鷹市のCO<sub>2</sub>の排気ガスが基準内であれば問題ないですが、今回の建て替えにおきまして、ふじみ衛生組合での実績ではオーバーしている。それから今回、計画しているものについても、3年間、倍ぐらい増えるわけです。地元に住んでおり、近くには小学校、中学校、高校があります。その若者が3年間、汚いCO<sub>2</sub>を吸うのかと少し気になりました。長い期間でみると、CO<sub>2</sub>の排出量が減少するのだからいいといったことではないと考えます。

それから、計画で見ますと、私はその観点からB案2かC案1になるのかと思っていましたが、値段が安くなるから全部燃やすという新しい案の案3が採用されるような形になっており、人間の価値とお金とどちらが重要か、人間の

命よりもお金の安い方に決定されたような感じがいたします。

環境問題を決めているのは、生きているものに対してのことであって、3年間、今までの倍ぐらい燃やして、CO<sub>2</sub>が倍増えるわけではないでしょうけれども、その間生きている人間のことはどうでもいいということで進めるのはいかなものかと、私は個人的に感じました。

国で燃やせとって、CO<sub>2</sub>を排出してもいいと言っているわけですから、それはそれでいいでしょうが、建て替えるときには、そういうものは関係なく、燃やしてCO<sub>2</sub>が増えてもいいといった考えで押し切ろうとするのは、話がずれているというか、合わないと思います。

地元に住んでいるものですからそう感じるのですが、今日のCO<sub>2</sub>の発生量の基準をクリアできなかったというのを聞きまして、そういう状態でこのような計画案を練っていいのか、生きている人間のことをあまり考えていないのではないかと私は受け取りました。

【会 長】

ありがとうございます。F委員、どうぞ。

【F 委 員】

私の認識では、CO<sub>2</sub>は人体には無害だと思います。自然界に既に存在しているもので、火山が噴火すればCO<sub>2</sub>が増えるわけで、ただ問題なのはCO<sub>2</sub>が増えることによって地球温暖化が進むという、地球環境にとっては問題があります。しかし、3年間プラスチックを燃やしたからとって、空気が汚れて、市民の健康に害が及ぶかという、及ばないと私は思います。これは3年間と限定した話ですから、実際には心配し過ぎなのかなと私は思います。以上です。

【会 長】

ありがとうございます。G委員、どうぞ。

【G 委 員】

先ほど言ったのが誤解を招いたかもしれませんが、炭酸ガスを吸ったからどうの、CO<sub>2</sub>を吸ったからどうのという考えで意見を言ったわけではございません。

F委員から親切なお話を受けて大変参考になりましたけども、回答は、説明者から聞きたいと思いました。

【会 長】

E委員、どうぞ。

【E 委 員】

この提示された案では、ふじみで考えているCO<sub>2</sub>削減の計画とタイアップしているものでしょうか。それとちゃんと合っているものなのでしょうか。

【会 長】

事務局、どうぞ。

【事 務 局】

ふじみ衛生組合の第2次地球温暖化対策実行計画の目標年度には、しっかり目標をクリアできるということで策定した計画でございますので、計画との矛盾はないと考えているところでございます。

【E 委 員】

CO<sub>2</sub>削減計画ときちんと筋が合っているということですね。

【事 務 局】

そのとおりでございます。

【会 長】

中央棟の構造、今、処理ラインは幾つありますか。

【事 務 局】

今実際に利用していますのは、2ラインです。

【会 長】

新施設は何ラインにしようというイメージですか。

【事 務 局】

実際には事業者の提案によりますが、少なくともプラスチックと不燃ごみのラインは分けますし、今のベルトコンベアのスピードを落とさなければいけないので、恐らく6ラインぐらいにはなると思っています。

【会 長】

今のラインは、急に上方向に移動しますが、新施設は平面方向に移動するのですか。

【事 務 局】

今の施設は、不燃ごみを対象とした施設ですので、重量の重いものについて

は、ベルトコンベアで問題なく上方向に移動しますが、プラスチックのように重量の軽いものについては、上方向に移動中に落下してしまうことがあり、非常に非効率なところがあります。新しい施設についてはその点も改善して、できるだけ傾斜を緩くして、プラスチックも効率的に処理できるように計画してまいります。

基本的には、上に上げるか、又は逆に上からごみを入れることによって並行にすることも可能であると思いますが、実際に我々がこのぐらいのごみが入ってきて、こういう形で処理したいといったことを示し、プラントメーカーがそれに一番合うプラントを造ってまいります。具体的には今すぐには申し上げられません、少なくとも、プラスチックの処理がより効率的に行えるようなラインで提案があると認識しています。

【会長】

ラインの手前にごみピットがあるというイメージですか。

【事務局】

今、リサイクルセンターにはごみのピットはございません。一方、クリーンプラザふじみには、大きなごみピットがございます。私どもはプラントメーカーに対し、少なくとも何日分蓄えられるように、何立方メートルのストックができる施設にしたいといった要求水準、仕様書を出します。その数字が大きければ、当然平面では処理し切れず、ストックすることが難しくなることから、当然穴を掘ってピットを造るといった提案があるのではないかと考えているところでございます。

【会長】

皆さんは大体イメージできましたでしょうか。

質問はよろしいでしょうか。

今期は最後ですけど、もう1回ございますので、そこまでにまた資料をよく読み直して、次期についても委員で来られる方は、ご質問をいただければと思うところでございます。

特になければ次に進みますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

## 4 その他

### (1) 委員の改選依頼等について

【会 長】

4、その他。(1) 委員の改選依頼等についてに移ります。

事務局から説明をお願いします。

【事 務 局】

お手元の資料54ページ、資料6「令和3年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュールについて」をお開きください。資料の一番下に記載しておりますが、地元協議会、第6期の委員の皆様の任期は、令和元年11月4日から令和3年11月3日までとなっています。令和3年11月に予定されている地元協議会の委員改選につきまして、現在事務局では、地元の自治会様、町会様などへの推薦依頼や公募委員の募集を進めているところでございます。

既に推薦状や承諾書を当組合へお送りいただいている自治会様、町会様もごありますが、まだご提出をされていない場合は、9月27日月曜日を提出締切りとさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

【会 長】

ぜひともご推薦をよろしくお願いいたしますと思います。何分にもどこの町会、自治会も、高齢化で人が少なくなっているという話が結構聞かれるところで、委員が出せないという話もございます。両市にとって大事な問題でございますので、ぜひとも委員を出していただくようお願いできれば、また、継続もしていただければ、専門的なところでございますので、何期も委員をやっていないとちょっと分からないということもございます。勉強会等も、新しい期の方には参加していただく考えですが、委員を継続していただければそれが一番いいかなと思うところでございます。

質問はありますか。大丈夫ですか。

特になければ、次に進ませていただきます。

### (2) 次回日程等について

【会 長】

(2) の次回日程等について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、お手元の資料54ページ、資料6「令和3年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュールについて」をお開きください。令和3年度のふじみ衛生組合地元協議会は、5月、7月、9月、11月及び2月に開催予定でございます。次回の開催は、第7期の地元協議会の初回となりますが、様々なスケジュール等の都合によって、開催日を11月16日の火曜日にさせていただきますと存じます。

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催方法を正副会長とご相談の上、決定させていただきますが、第7期の地元協議会委員の皆様には「リサイクルセンター整備基本計画（素案）」のご説明を予定していることから、少しでも多くの方々に参加していただけるよう、現在のところ、本日と同様にオンライン会議と集合会議を併用して開催させていただきたいと考えています。

私からは以上でございます。

**【会長】**

ありがとうございます。11月16日火曜日の開催でございます。開催方法については、現在のところ、本日と同様にオンライン会議と集合会議を併用したいとの話がありました。今後、事務局から第7期の新委員の皆様にご案内状をお送りしますので、よろしくをお願いします。

以上で、次第の案件は全て終了しましたが、事務局から何かございますか。

**【事務局】**

事務局でございます。本日、特にございません。

以上でございます。

## 5 閉会

**【会長】**

特にご意見等なければ、以上をもちまして、第68回ふじみ衛生組合地元協議会を閉会したいと思います。皆様、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

— 了 —